

平成26年度春季ディンギー混合レース兼第3回香川県ヨット連盟杯クラブ対抗戦

4月27日、高松市営ヨット競技場で表記レースが行われました。

470・スナイプ・FJ・420・シーホッパー・シーホッパーSR/MR・ミニホッパーレーザー・レーザーラジアル/4.7の11艇種47艇とOP級クラスに9艇の56艇が参加しました。

B&G高松海洋クラブからはシーホッパークラスに一人・レーザー4.7に3人・MR1名・ミニに1人とOP級クラスに9名の15名が参加しました。

9時頃は風も弱く陸上待機が少しありましたが、何とか10時15分に4m前後の風軸20°の風で1レース目のスタートを切りました。スタート直後風が振れ、上マークまで1本で走れました。

2上はマーク変更で対応しましたが、子どもたちは久しぶりのレースで感を取り戻すのに必死でした。

2レース目はゼネリコが3回4回と続きましたが11時30分にスタート。風も6m前後に上がり、特に上マーク付近は9m前後となり、沈艇もあちこちで見られ、MRとミニは途中リタイアとなりました、

9m前後の風の中でもOP級クラスは全員が完走しました。

午後からは3レース目が行われ、2レース目と同じ風軸60°で6m前後の風でした。

結果はクトミコーチが総合で1・2・8位とまとめて2位、ユウダイが18・3・3位でまとめ3位、ヒカルが15・5・4でまとめて4位、カナコが10位リュウノスケが29位、カケルが32位でクラブ対抗戦でも1位となりトロフィーをいただきました。今回のコースはいつもより短くレース時間も30分前後で1-2-3-1-3-F・

OP級クラスは1-2-3-Fのコースで混合レースでなく単独のOP級クラスで戦いました。

B&&松山海洋クラブから4月に移籍してきたマヒロが2・1・1位でまとめて優勝、カズホが1・3・2位で2位、ユウトが3・2・3位で総合3位でした。

今日は参加艇数も例年より多くその上に、湾内では海洋クラブ主催の入部希望者の体験教室も開かれ賑やかなハーバーでした。